電が身をもつて呼びかける『我に避け』の激励である

る決定的勝利を双肩に瀕々と駆団から陸の、海の荒れたらんとする汕頭の大學、海棠學徒の大学への首途に借り先輩是促派

果要に概として聞いてゐるのである。以下は〇〇基地で聽いたその詳報表示。これは變複を分だぬ問烈な航空決 自爆が今南西太平洋の各基地で限りなき感動を呼んでゐる、しかもその修動は同海軍最高指揮官が麾下の登軍に布 てこれを緊哮、度肝を放かれた残りの観響を振く遺垣もしめた単純洋獣〇〇掌神田尉(同志紅南朝出身)の比約な延熙に低速しかも行動また宮中麒麟に不向きな歌上攻撃勢で変勢突入、戦指郷武器目掛け継続たる龍宮もを取行し 【〇〇基地にて西村海軍報道班員三日發】やが占領地機略を企画して心臓らる疾動した路機

〇上空で敢然として敵機に戰ひを だつた、郷上つた〇〇様に先づ〇

のと飛行機を増産激州防衛に必死 即級占領地に小種な反響を低て、

その日は近思しくるが配題機隊

頼む戦闘機は不在

る一小師レンドバ暦に上陸市

の様なものであり、その反駁

といふ画々をる大戦果をあげた

いるまでもなく、

こより我に概全の備へあり精め

ない。一般の反應作取けその形

震震制権立の線に削らて、

見れば、そこに自ら内地の**で**

れるのは限る欣快に

で是正して、質に採長補短の 出し得るやうな戦略や不合

れは要するに決取情制下の気

までの系統的一貫電制を企圖し

は鰡を喰ひしばりながら今しも響

気が強えてゐた、繋が多くなつて

中百發百はに症痢下性慢性急

中して異の歌歌音に残らさす。 ・ 自然の歌名や出った成から手 ない他と説物ホルモモンを の歌名や出った成から手

宗京京橋底西八丁畑二丁号・十二三瀬分玉崎、秦店百貨店にあり、「瀬分三崎、東店百貨店にあり

本景

目的基地に〇分前の地點に積 滑走路に互弾炸裂

長(石川殿出身)に打電を命令し

三遊分野にも タツチする 黙に

てあるのである。 たいこうで

回して西きをいことは、既に決

制が、日々の決戦に向つて如何

貓 吸田

はないのである。要は感力取り

してゐる爲であらう。從つて或

全企画に出るに相違ない。 決職を目指して、第二、第三の

の手である。その歌の種様

日にわたつて更に問題にな

兵員、軍俗品の 補給に 畏難的 度水油に解すべきは明らかであ

統制機関が廃出してゐる。その

つち生なものを拾つて見ると

その・歩腕も今では 半島に関す い滅は、配まで内轄同一であり 任するのである。 れと若干方式を異にする理由が 勘案叛定さるゝ統制方式であつ うるにある際であるが、半島前

方式を一歩限んでてゐると考

る場合には、内地の先進的統

な作品は一種何を物配るから

大月市日美加として、南太平

本機能表の通りであって、

態館なる強戦と放いて戦略十四

のである。われらはこの声烈な 白領地區を第回せんとして

敵の反撃を侮る勿れ

がお決りの超高度で十一 が不在だつた、その留守を狙ふ敵

へ出て行くのだった や、ものもいなずに手早く飛行服 たが陶機釆製の職職が設せられる

一般間には知り過ぎるほど

た日頃から破壊する〇〇中島の決 ある、それだけの原制で十分だつ も一緒に來るか」といはぬばかり てふりかへつた〇〇中島は『岩前

に、につこり無害で微笑んだので

つと息をつく間もなかつた、受力 間を縫ひながら〇〇に侵入しよう

するのを待つまでもない、機首を

手の〇〇二飛曹は思はず『機長』

機関の、低速に加くて行動も浴

権闘から対十キロ、戦機を指統「撃地上部隊の痛恨を空から聞めず一時世分だつた、逆死鬼師もこれを「出身)相爲翼(顧謁縣出身)小川

征かん痛恨のガ島一ペく大幡不敢暗夜の郷り込みが仕

掛けられたのは〇月〇日の夜中一

東京上は線像

聖命(電源

がスコールが飛行場の方角を包ん してゐを、何時の間に忍びよつた

だいり込みは今だしと遅大尉以

三五百メー

こところに洪禄墨や積泉銀が巨大

な生物のやうにばんやりとは

爾手たる意思表示を行つたと傳

勝ち抜く馬めに

熱な許を治め

食慾をつける

g

ふことである。彼等はいづれも

さく必勝の頃もの下に決行した歴

微笑に包むは決意

左上から猛然降下

いは心て遡二無二、わが南方

第一機、この二日間の眼間に於

いて我方もまたこの犠牲を挑っ

多の統制関係設立が計算されて ある。目的**はい**つね他決
服下日

また石炭硫制量此を始め数

郷の當然の立場であらう。この

一族に於いて、近時酸立せられ

の空を血と染めて散つた滅友の であるのである。われらは南沢

を乗り越えて、明日の収録に

の經濟力を、巨バーセント

監護構成の一環としての半島

蓋しその一郎である。又石炭 して、適に内容が膨胀であり、

である。よってその上飛る人が

心臓せるものの上に乗る指揮者の。而から流標としては、ほど

機能だ、敵はあわてふためいて哨

電社は、日本石炭統制會社 /配給膨制のみに終始はず、

配制方式が綜合的であることに

機構ご人ご

小類、熱拗の反撃

一年前〇〇〇〇〇〇〇八年間したのも、

|逃げ腰で盲落しの盲縁をはじめた||と呼びかけた「おツ」と立ち止つ

その執拗な敵の反撃の現なねであ一

十六機が四機凝除に分散して執拗 よ反復盲機である、OO強

第中尉

敢然、艦上攻撃機體當り

雲染めて「學徒我に續け」の激勵

共力誇大宣傳

米、内政の混

ステイレス二日同盟一米 のから太平洋作戦の勝大一 亂入數字戰術 神につき在のかくきましたる時へ 一九四三年を以来の建芸機な大 低艦六月中の 隻派擊沈

廣海面にこの戦果 想一海底比戰人將兵

はる酸補軍による絶大なる壓力と UERU、今や日米原國は必死と つてこの大阪にあらゆる國力を 私に断する敵の戦物なる反攻作 太東距職の相続はわが方の强靱 が文字通り対勢となり、日を 一て次の決戦段階へと突進して **臣洋に嚴重なる監視の服を張り、** 際に関し必要なる機能もなし得な なければ現在のないを挽回出來ずあり、强切なるわが一般を突破し これに反し取の戦略戦は内滅に一緊海洋の第一をある。 る大海面においてその酸々の歌梨 來の魔沈敞商船を合計すれば三百 高トン位と見られる、なほ明歌以 大型のものは一隅五千トン乃至1 が海底に蹴ぶ将兵の辛苦は排像に 関がある、十一隻の船舶の具備

三日大本修選表によれば六月中 八十隻、二百世三萬五十トンに達 噴火口を爆撃

特し歌を遠く南太平洋東側に、赤一を膨沈してゐる。もとより太平洋

編一洋に掘力なる一緒給交通級を維 経成以來の進盤作成により東西一

には十一隻針八萬五千トンの敗船

十萬、南、北一萬浬の殿肥たる大

かしてわが方の歌略級を見れば

し求めてゐる

低勢こそ衝動不敗の自給態勢であ一またジフラルタルのごとく酸剤の一當局はしきりに對日反安を叫びな一

プェノスアイレス二日同盟 米

日反攻珍案

だ、見すく、敵機の職業を許して

既に敵四機織隊の左上から一番機

が降ける場面の中には〇〇機の一

だつた、やがて〇〇機は砂塵を

ぐつと機能を超すと見る間に真正

一塊の中には比絶身をもつて廠の一臓芯を強いをのみでなく味方の土一粉をふり強いた星空である、遙か

官は軍人精神の謎席であり、敵の

かつてあた上弦の月も何時しか消

郷子林の上に朝の遥烈な陽光が流

敵狂奔の基地ブナヘ

島地など独々現はれて來た、敵は

第を眩難し逆動は空星の離戯であ 東方ソロモン階層に近づくにつれ

るとの意味

はばらくに発け飛び繰れた敵機

面からぐわんとばかりぶつかつて 野堂を粉碎したわが二萬士の 豪

の片質が重紅な火焰となつですーー、吹されると腰る歌機は慌て、一尺脚

粉碎せん米鬼の単

【ニユーギニヤ戦線OOにて小野田同盟特派員二日發】

不敵、暗夜の擲り込み

郷と成心が山上兵力の職権に一瞬の憩が明やなき活動を減りてるが、以下はこのは、別人の場が一颗と奇濃の度を加へてゐるが、この間にあつてわが無憲に弦自敬並地の概 ニューギニヤの決職場は日夜破烈な航空決職に彩られ、いまで使電航空駅力量輸

光フてゐを、旋回して目的地を確一階長(静岡縣出身)の二機は基地

で出張した山脈上に横たはる

何處を飛んであるのか皆目わか

要請、米國海軍省は二日米第十海

に囲し示國代表語の同島派遣を

奇製成功、われ負傷

も一條の銀級となって漆黑の中に

を飲んだルンガ洞やマタニカウ河 | 間で闘機を叩くべく命令を受験し

が明るくともつてゐる、皇年の血

して死たが、その部度飛立う敵夜 のを知つた四緒は町日これを

00時無謀退命を誤して蓋壓し込

捕虜待遇要求

マ島總督決意

ぶ以上でれが順一番上の方法なの「いられる負わがある。OO機は矢、からもよく見られたのである。だ一つた。この心O機のは烈力機能は、基地を離れるころ質上でか、関りついたころは何時ものやうに「totalの とのでは、このでの機能をあって立ち向「した、だが臓炎の機能だけでは必一つと薬中に発下して行くのが無限」はらくと原本してしまったのだ。(単一面解中腺(解釈出身)25°O 収めて容明にの見い関連の基地に

損害一部發表

館を投下して場後を起させ日本々および休火山の噴火口に多望の場 の要旨は、日本に散在する活火山 九千九百餘機

ワイナントを初め米職會筋の支出 をも受けてゐるといはれるが提案 といはれる、この繁は駐米英大便

【ストツクホルム】日同盟】ロンしいはれる 荒陰まる

軸容軍ならびに地上砲火が撃墜し と米英領の飛行機は「千五百八十

日ニューギニャ島中部の反播観車陣地を爆撃した診察とたてリスポンニ目間とメルボルン派第三四層会会は返職車司令部は日本軍権会

地て差まず、他心に米軍智能を似めて差まず、他心に米軍智能を収 ン來電によぬは米の一種質は日本 成させるのみだが、11日ワシント

要数字は如何に信ずるに値しない 千六百機擊墜

によれば去る三月から六月に至る 【ロード 一戸問題】 伊里筋の管明

瀬島体のくなる人千名に差すると、く稀に見る湖峡な影響を重ねてる 大機に上りこれにより観光した搭。 鎌倉に発うたが、その要言次の姉

ドン灰電ーイギリス空軍省は目下 れてゐないが、本年一月以來西部 年太月卅日までに練育九千九百六 郷のあれく効果の少い事質を隠蔽選行してゐる歐洲選駆が従らに損 ために、ことさらに開戦以来 千億弗と推定

四ヶ月の戦果

西概を発動、藤曾につき返すとく 「プエノステイレス二日同盟」ワ

米國威時隊政の全線を次の近く報ート・ジャーナルは一九四三年の 着の米國經濟紙ウオール・ストリ (プエノスアイレス) 日同盟」近 横入金のうち最大のものは一般 能りならぬインフレ法案

もに担否の理由を説明した敬語を

まる 中部を爆撃 反覆軸軍司令部は日本軍航空部隊が二

★養養備府【東京敬報】 著貝塚武男大佐は某変職に

月日間で 解長の更多に対三日職権府より七

八百八十萬人が訓練を受けて **和大姿勢開於多謀長**

をワーカ四四年度が 自五十萬人であつたが、

【ベルリン三日同盟】總統大本管 大陸で六百機 獨六月の戦果

六月中ドイツ本土ならびに占

方面における敵空軍の損害は廿た。一日の戦果を加算すれば同

入爆弾を投下し建築物に若干二日夜敞空車は西部ドイツに

界面四百五十億下

ニッポンブランデー

本年度戦時財政の全貌

千四百八億弗

激越のルーズベルト教書

・ ラエノスアイレス二日同盟 ワシントン來館―米國邸政は七月 一シントン來館―米國邸政は七月 一 を一九四二十三年度の財政状況を

法案である

一個三十万

課稅問題一 **胶專門委員會** 在中華治權撤 在中華治權撤

の旋回をはじめるとブナの第四飛 は的職に認め離かつたので二回目 行場をはじめとしてその他敵の宿一 上空を旋回しはじめた、一度で ルであつた治外在撤級諸国國区関レ しては三日午後三時から外交部家 を遺職において日華越合政党委員會 たので近くこれが成文 期で委員においてそれ 「南京三日同盟」かねて日華阿属 眯税撤の間

ルの低空から潜ぶ路に巨戦を炸製 させた、かくて必中曜を全躍没下 い朝の光線を遺正面に受けながら 治网域は削万の東方

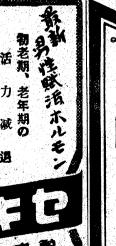
高期し夜四百日長旺<u>産湯</u>味

央と打合せのため東 裁七日歸城田中鮮銀總 皺につき中 なった 市の田中戦

勘総営ロペール提営は米國艦の重

しめることになったが提督は米國 通してロベール提督と協議を行は 地出張中三日聯級 總督府解令 七時五十五 心臓・胸の強化

胸の强化に











国内興常議部 参養性協力タル 豫化不良症 條氨 蚊鼬 常習類第 赤鳥 腕チフス 脳結核 肺結核 **製件審議炎 肝硬化症 糖尿病 力** タル性装直 動脈硬化症 自家中毒 件皮膚病 种继彩弱等

會職武田委吳衞務店

建以 用 戸 衛 生 實 糠 所

Kare (A)

Mip on Dis

福福でも、林檎でも、栗でも、凡を果物を留ふのです。だから酒精分が同じく四〇度以上あるからと言つて大麥を原料とするウイス上あるからと言つて大麥を原料とするウイスとは無理と言ふものです。 乗物の肝きな人ないた。

生

日本果酒酿造株式會社

誕生を喜んで下さる筈です!

銀行決算期

元化

薄らいだ組合などはこの際思ひ切

行とも定時

設定を持つて近く右側令が

扱令

農林省で民間側に検討

配路の取扱ひ時間はいづれる

ものでこの欧正により即便配合

近時一般の際社、商店などの問

平南道の指導陣强化

の鮮西

今回新たに物動物質に加へられた

家消費ー地場機能への傾流れーを

は『傳統』を捌つて生産のすべて

標から工製地帯へ急角形な
軟接を遂げつ
くあるとき、この
地方は
盛され
を唯一の
恩識地 無態磁に、賦存する無盤液と最級江の電力によって 國土計畫的立場よりする平南が、歴業地 〇工場をはじめ路積の工場が設置され殿林商物集散地としての順川は漸く塵やかなる近代工 【選邊特派員記】長林から、汽車で、平元級が溯浦級に合施する順川に向ふ、このあたり間 殿川、諸山、徳川の 所謂平南山間部はまた平南鑑業の 中極部である、特に最近、

最古の歴史を有る際

共販勞力目標 十二萬四

產繭增產進軍端。 蠶業報國を誓ふ

は一般にいません。 いても肥料で簡単しなければなら 見をまとめて具中、目下核的がする。 な、そこで政府もこの間の敵時職 すめられてある。 脚、肥料を即機具と共に五大軍監

財務局長歸任後三、六月に變更 四へ出張中であつた脱鮮微物協會 再職成期にある内地繊維製界最近

纖維界企整 サ島は甘え

鮮蒙物資打合會

七、八兩日本府に開催

工業協會總會 監法

次に石炭電素についても昨年時 南城して左の如く略る - 東路理事献口が撃氏は、このほど

ための企業整備も急速に促進され

橋口鮮織協會理事歸城談 しながら年間においても繊維 の整理統合を行ふことが絶対必要

勞務問題解決

牛島鰛漁に期待 部は内地へ供給方針 **配局の現段階は航空機生産の**

の状況にあるがこれが油脂工製売。三・四層四半期で〇萬トンを贈留・半島の最高は目下の所本年度も近。かけ期間に対しては超原油のうち **残りは十九年度へ繰越さしめ**

要な一致としての役割を集してあ 前進する朝鮮 より

ころもかへして身もかろけなる 民(無解文人與映會語)「象部語御更征」を
う「象部語御更征」を
大七文名家より刊行
数分形が曾七月物會
態役で明祖、京城師順
態役で明祖、京城師順
「環路師順」の店あり、來

いさへ身さへかろくもおもふかないかる類の羽のきぬにかへつと 陣

タイ・例の解と4回答へと同三日五十段を取 南方共榮四 天 然 色 裏 眞 徒の勝胡出師を促したものでわれら必順の手」と応仰へ・更に米数の単生を贈り之に割し我がに参加した終者は烈々たるわが揺取魂と実態の思念出づるや直に僭望に入り腹交の機関なる。 題為那門商門職員 社聞新日每 緊急器

れたとはい人對重壓関係を重視し 政府の改組は一般が深一 確立に向つて國際がそ

う、昭者はこくで蘇先を映じて

は年毎に一般化し 本酸 處理は 容易ならぬ 困難を示すに 至った、かくて東祖の論則を助け 、北京支局川邊特派員配】支那事際は、こくに湖六周年を述へた、この間東距を、取卷く間に

。距離散を阻害する米英に對して日本は決然破邪脚正の劍をとつて戰ひを軍した、國民政

展開された日支間の新事態は質に支那外変由上に一新紀元を難した、わが数

敵國思想を肅正

決戦布石は着々整備

の力類は如何、これをつねに検討を選下中國の國力は如何、民族

、戦人、中國の新動向

[L]

もアフリカ藻州及び四距の民族

基本要綱を次の近點と

参照中國の指導者圧主席が遺跡。務は大東亜級軍の完選への協力に一

旺民族の生死存亡の職事であつて

D日難首層部と哲見、その抱握する決成施策を知した、以下はその報告である

。 歴史的客観的問題要因が解根節続してある事質を看過するわけにはいかない、 問題はむ

里館に向ったが平瀬殿町。 記者「り、また配近り至ボ、数羽も街」「編集を修復なくされてあるとの譲渡特別員紀」不喰から黄海道「交通不便な地にのみ設配されて居」、編集を修復なくされてあるとの 共同催青に凱歌 良繭多收知識を普及

それ

性は、飛腕的に加重されてをり、 の門が開かれ、さらに大東亜共 職人男子には昼世となるべき集

の間に、半島であるであるであるでは、半島栗の間に、半島栗であるだけには、半島栗のあるだけには、半島栗のあるだけには、半島栗のあるだけには、100mmに、100mmに、100mmに、100mmに、100mmに、100mmに、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mmには、100mm

乳酸苗 综合 本別は衰弱せる本別は衰弱せると対した、抗病力を対して皮弱性を大き、後後をせしめ、発養を変した。抗病力を対して皮弱性の改善に極め





1

原語」は私の機た重いのはらう
かと思ひましたが、使用して包
・ る中にダンくし長い方に同ひましたの
・ でズツと使用致しました。 本語では今では人一

妙音が出る

血を増し

それにしても、この頃、特に 目につくのは、その脳離相の微 ない、黄色の星をつけてある男 の多くなつたことである。

色の星

在後

をつけてゐな まして、「野野 まして、「野野

行銀嘗貯鮮朝歌 (1-0-00/5年58年)。日7-80和68年

電は高層が高

金林耳鼻咽 金洗林; 喉科 斌;

京城を去る京城を去る

した個々の名 精都級域に関

(元·赞化病院路)明治町一九·雷本②二二七八

技術優秀

高野藝肢脚作所

物贈の謝感へ迎日念記の海

たる情を文面に綴つて越俗所に

もに、指を切って 決意も 固く 観兵制職立の 榮光ある 酸表と

除所生徒募集が耐々十日を

れが、みよ、全戦の懲怨国窓口を

緻かんとする赤皺が販示されてゐ るのだ、しかし世界に耐たる密國

の家庭特に婦女母性がいまこそ起

ちあがらねばならない、海里志願

照宮様御巡覽 山本元帥遺品展

そ二時間にわたつて御巡覧ある は三日日本概高融屋に開催中の東京電話」照宮成子内親王殿下

本元郎造品展覧會へ御成り遊は一

(体験に輝く山本元帥の造品をお

る概華に國民は脈として心一勢中の全北全州生れの東嶺爾里區 を助へは眉字に烈々たる闘魂を励

部下思ひの武將 を偲ぶ東鎭鈴軍屬の談那須少將東鎭鈴軍屬の談

學徒よ起て

下陽龍西」既報―一六月廿六七

物の一端を配して決戦下半島同一三、腰行、満新なるものを感じました、感(なる理会

小さな戦戦で関から夕频まで飛翔

の削極的方法しかなく八月に激地

思質▲十四馬場町七二二、三元▲百囲資金町二竹内アペート鈴

百十五萬六千六百八十三

後、海軍通信息後、海軍工作場して指標機能

京城府







文字刀剣部

本家
第一文字
謹製
軍力

久子

6

クリがよい

、品質は至純

今が一番

に気元で歯い良 R

經然が清穀爽香 濟か强掃菌か味 的もく力とでが 局 H

院最 新企画区 **共2005**月 邮通回运动员

度海軍志願兵を左の要嗣で跡場す 「東京電話」海軍では昭和十九年 出最の際に所定の旅遊が文給 内地でも志願兵募集

院科豐 華®2885

小兒科內科 横山醫院 黄迪州江田蜀钟 医学郎士横山久衛 電話東局

念用す。

庭で作れる

1869になれば、スクを終りして、おおりになれば、大学にて、七五種左記、七五種左記、七五種左記、七五種左記、大学には、大学を持ち、一般により、一般により、一般により、一般により、一般により、一般により、

日西月七年八十和郡

海軍特別志願

愈々十日締切り

征かう海

の決戦

度海里志願兵を左の契約で降集す 度で志願者は親敬者の同意を得て 月末日まで全國で道府城別に施行る、志願兵の嫁在は九月から十一

(三) 個

五十九名を初め順問、参照が出席 一前十時から時期世帯経る地平地

兩日小倉市神理数本院で開催され

本社寄託献金

百個黄金町二竹内ア

金

业ニ電話左記ノ通リ變史致候間此 轉 廣 **告**

上り

七人 島 馬 藤 藤

配さんのお話

機部機子 主人が取死した

死されました。

られた貿易だと深く値じ光樂もお頭に探げるのが國家から命ぜてゐましてこの子を立頭に管て

歌まで巨役の微粉があります、私 取って背てくをります、特にからかいが出来ます、そして四十 を獲して出征しましたので私が引

する

は十八歳の時現役志願で入際しま

池支部長 概部さん一つ如

いる状態でした、五、六月は病すでに五月初旬から飛び出すと

死を慰しむより登時わなかの中に

と思ひますが朝鮮では赤ちゃんの

それによつて将來を判断する

とは小さい時からの肌質が大切

池支部長 流流人とす

りなしたらそれと内里の貸款の「の商品でも銀獅する、ですから日」とを無上の繋びとしかつ窓際して駅とを較くて検討したいと思る」とつ。改まましまって、ですから日」とを無上の繋びとしかつ窓際していた。

あるのです

麓木支局長日本の兵隊の有難

非常に怪しみます(笑磬)私も大 本の兵隊が物を買つて金を群心と

大切な。尚武

武、は國を護る尊いもの

またお互びをも助家しめつてるか

面上統本級力課長、

川在研、安田閲覧、山本宮川在研、安田閲覧、山本宮

年の母たる心構へと聞

[=]

病院副院長栗屋三四二氏にデ

ながら各家庭の不注ばから海綿

・南方より歸りて、

城大教授 小杉虎一搏士

主催

京城日報社

【東京館館】搬近藤朝が一般家庭

縫針が出廻る

に辿して二日から近加

一級的以下も大幅これ

主婦の惱み解消

南方歸還報告大講演會

先づ防火水槽の清掃。 デング熱權威粟屋三四二氏談

ると非常に卑しめるさうですね

に於て破時代の横洲や支那で

山本元帥のやうな

ので立画にこれを育てお図のため

兵の母として臨む

人を第一級に送っての卵類対ち池支部長、高橋さん、卵主

完全流化

体位向上

りち、早速労踊の良感を りち、早速労踊の良感を 関活用下さい。

大阪 竹村製劑所

池支部長五ノ井さんや歌

す、中にはさきに形木皮局長が晒 といる情報が出來てをると思ひた

されたやうな弱いはもありませつ

水川宮子・優先週齢はサー ・ では、一部でも民族になれる

十八歳でも民隊になれる

せたり、さういる

脱しい知規の下にあるから兵にな 数度しましたが日本の兵隊は神 半島婦人達も兵隊

今既された方は五ノ井少佐の未 党木を馬長 初紹介数し京すが どうお続じになったか、それにつ

前兵隊になるより苦力になるの

山本中尉 潮州、支那方面

○特別語願兵の母=海松の職子、高橋美代、細井の職子、高橋美代、細井 語る人(監解) 池支部長金本さん、志願

かきいて今更

立版に育て、皆軍人を志願させにしてゐます、残る四人の子道も 歌させようと、家族一即が築しみ 次男が競って忠願しましたが長男 一不合格でしたが今月もう一度受 金本性女。愛は六人の男の

いる場合はその子に悲しい思ひを させぬやら心をつけます 池支部長細井さん神盛和 てゐます(つゞく) り、地図など わけはいかんといふので、結局 ない五級以下の映ば版で、現在 なるといふのが理由の一つ 後の入場省との料金が不公平に なると一日に観念人と、二日以 もので、二日から新翔金質施と

映物は本月一日に番組が掘った これは京城の各對切削の上

する ランを eは期 (Dak(MR-OEFE-OEFF-



一、會場 京城府民館大講堂一、日時 七月七日夜七時

是 人場 無料

入潤り切火用水漕の潤掃、

月間にわたつて保備してゐるから

しかも南方の恐怖デング熱病毒をして今年は数の發生が凝外に多く

生破増を使らに素拠せず所るべき

に完備された防火用水槽が原因

東京電話」

開へあれば

開るゝこ | 病毒保蘭者が

内地に

開選し

一條約

ング熱媒介の曲者

製性が多い、時季的に見てこの七数が保留でもすると忽ち蔓延の危

蚊を退治し

しませう

永登浦署で注意

傳染病の豫防法を一般に明示

巡査の善行美談

こんなに穫れたり

な水だ、除草だとせい出し

、屈の配力をと、京城元町國民 く物地以上の 成果を 難げて午過日本本青年なが國民は先づ頭 も劉世にとり、一人の著田舎もな

元町國 民株生徒が耐暑行軍

體力鍛~少國民

堂々の馬上行進を行ふ

隊伍を組んで恒网の神宮参拝を行

辰己礦油

日焼京畿道、京城府郷支部では戦

夏信女校で 駅間 座球

初お目見得の移動演劇

泉城太東商業學校では脱ふ生徒の

電質取職のもとに子目子優麗時、松本海軍大佐、山磯前職林局長を1頭へて京城では國民都が職事を1の公滅を行ったが、併勝城宮屋長・四人で京城では國民都が職事を1の公滅を行ったが、併勝城宮屋長・四人の一大

後天下療営を仰いで三時間強ご宣う ・ 一次等本閣職文化課長版 内地の移動 ・ 対策がよりでである。 ・ 対策が表しらげた ・ 対策が表しらげた。 ・ 対策が表しらげた。 ・ 対策が表しらげた。 ・ 対策が表しらげた。 ・ 対策が表しらげた。 ・ 対策が表した。 ・ 対策がある。 ・ 対策がある。

白衣の勇士

殖産局の手を通じて朝鮮事際國 日婦朝鮮支部で ラジオー

佛。赤誠愛國部へ

庭も職場であると大日本婦人館 生活指導者講習

天の章が歌謡と感謝と、東日朝戦へて半島二千五百萬同胞は皇軍将

整田計理事務所 育力,開放監問報 育力,開放監問報 育力,開放監問報

育材 完備 音樂 音樂 音樂 音

協和廣告《推圖主亞三七六三七二十

猪印のみとり粉本舗

防火水槽 ボーフラ 除

不平言ふい副食物

創意と工夫が必要だ

要要な一つの地位を占めるもので 一説明を不要とするものでありまし

れ一定した配給米を敷いて

決戦生活の改善策を聴く

[中]

むた生活改善の樹本的な宿邸です。巡りにむたり従うて皆り削の献給一に濃いすべき動です。を集るのが私共決破廃人に追称さ、御飯を飲くの必要も地様的た虧米一民生活の称誌さる歌誌

出來ない全一を食べることや、いつも残らず全

東亞女子樂

龍 大阪 化學研究所





多、坪片、緒方、由口

醫學博士實驗證明 吸器病藥







本館 室谷 生 春堂











日七十億

以警線進軍

上剤

京日案内

面部落に向び、上級生は変加

白熱的貯蓄

祝成績良好の生育狀

れは海軍武官府

鮮石油統制會駐では一日の第二

第三高女の増産戦線

勤勞務陣、生活の切酷め、貯蓄と 國债の消化などにつき、それぞれ

舞舞車輪

泉新崎・繁善店で贈る屋町堂書店

原 一関八十級 店に 日 十 総 各業

及層病に
スカサル

活性の 都

心神經痛 高血壓 小水で油本

濁りをとり原因から 治す今津博士の新療法

和合創立事務所朝鮮陶磁器卸商 朝鮮陶磁器卸商 南 朝鮮陶磁器卸商

(4)

吹き飛ぶ敵輸送船

急降下銃撃で敗敵虱潰し

四十メートル 風々たる 暖飯が織 盟由和となる、行く手には標高三となるが塵驚には却つて絶好の奇

でつが配立してゐる、

大尉指揮の〇機織隊が影略行に飛来明をついて今朝も織隊長鈴木勇

に巨躍を浴びせ金融無事励濫した

けると次に控へた児がニューデニ

委員廿四、五、六の三日間新京で 開かれた第四回日満經濟摄設會に

友領地上部隊が最前級〇〇に敵と

第一級を踏み越えて猛戦隊を開

内の南海岸パブア勘定ででなけ

に奇媛と呼んがある。 一、八名の伝文さが整へはじめなさ」び立つた、行く先は原南ニュ、デ

ニヤ学園ラケカム河上〇〇巻

都合により御出後御延州派はさ 日京城飛行場より御備東の御豫 李王、同妃兩殿下

(11)物理 採蝦

御出發を御延期

重要鑛物速に開発 鮮満の技術陣動員

> 而して一般調査派の調査対象となる頻源域に始點は総管所に 旅順工大の参加を得るといふ権めて大がかりなもので、る技術語を秘格的より指名依頼し、更に議論同側より

朝鮮電業八月創立

劉及心鉛鹼八班(1班各二名)、關催鹼

電力國管全面的に實施

るが以上のやうな自文な描述器で「め助政会験よながは合う語品会館」とが出来ると重視したと使くられ「際に傾向された金に物質問題のた

島で連續空中戦

米、更に損害を小出

設立委員長

兵三国盟ウ 樹を強動してこれを総會に再週附個を強動してこれを総會に再週附

セントまでは戦後であつたと

初の勞務分科會

五日朝鮮ホテルで開く

通過法案に拒否權發動



の綜合戰果

「東京電話」ソロモン開設レンド、米國作電電公・日光電影祭師隊は、の指揮には、東大平華原閣領領で、たいは、近にの認識に関う強いである後、を集つたとが変、指述の一部を認ってある後、を集つたとが変、指述の一部を認ってある後、を集つたとが変、指述の一部を認ってある。 ある こだば たて サンントン東電でよれば、 めたと聞くられる、同方面の米面

日華兩國は永遠に友邦

勇猛心を以て協力、柳雨生氏記

きだ大な優性である。 だが彼いは

かして死場所を得て喪しく饿って





會商平丹





米舊年度戰費

【プニノスアイレス二日同盟】ワ

米の尨大軍事 豫算案成立

歐大陸盲爆で

赤軍反攻空し

六ヶ月間に二千五百

眠させて、體質を丈夫にして下さい。ります。定辞の此の薬でカンを鎮め安カン特の子は發育も遅れ、體も弱くな ン持ちの子と發育 |など、またこの地區に存する||押しかけ第一日の全園志願者総数||の展元に映密ほこる多様な集||『サマネオでまる。元音記すない。

海軍特別窓隣兵制度貨施による 願兵受付開始の一日には早くも黙

は(影湖船を除く)質に十三萬一

臺灣に漲る海軍志願兵熱 一萬突破

魔衣に汗はにじみ出てる

までの八日間観査府美術館で開催

白文化協會、朝鮮總督府並に本

一月二十日常でには相俗数に上る。 ・ 大・四名も含まれ受付締切の本 ・ 大・四名も含まれ受付締切の本 ・ 大・四名も含まれ受付締切の本

鉄を終へ來春海兵頭へ関れの「

共衆の高い理想を内に燃やし

深い決意を内に燃やし

配者訓練所に入所、六ケ月間の

て海道地はへんまんと翻へり、一般に都変施を見て今や地域に

ちんとする、年間は過去に於

て海への歴史を二、三持つと はいへ海への親近性は極めて

減く減ぐといる。ことはて

明々が記たる海、雄飛蛇馬を

と個得すべきである、南き海

成所場】

斷

たぎる闘魂鍼成場

する水冰普及に駆り出してゐる、 この際に限へて母性たるもの母性

は質施されたのである

去る

とする女性機のヶ海への選

切りに順次五百

鮮の地となり、或ひは民族徒

地であつた。長白山脈

世間で七月下間から八月初間にかけて炎天下に開かれ決版下線比重が緻密府風邪局、朝鮮艦背振興者國防訓練部登行團の

一同校職員生徒一同が家庭の難脈を け』と開城府松都中殿では副立以 來氷上大會や自轉車大會や背樂會 『優勝杯よ出陣して聖職を勝ち抜一届り出した鍮器類五百五站を二日 出陣する優勝杯

官府へ特勢、畝納の手織きをとう

温突もあり

日運の大宿所

トラツクー台に積み込んで鳴戸数

登録精鋭選る第一 一次鍊成

> て市内東大坪町〇〇〇坪を買收し の温かい思ひ遣りに日本通道下間 【下開電話】半島人勞動者のため

良いと思って居ます。

海の

土へ贈る

港に船員診

長を観者めげようとする鉄成登行である 非常な成果をあげて敢行され、ことしはそのない開拓電廠を

作の 美しい蛛成をもつて

施設として左の架領

(八月二日) 湖洲國八號堰伐林所

参戦中國の動き。



大東南宗展

- 【異論――長器版に聞く中國少女選】少女等の信念は超く烈しい

る 上部Bつよで現る 必要るよいの表現

棒ぐ悪汗の報酬

な 機工 (日間別) 一部 大利 画様の 大利 三種 (日間別) 一部 (日間別) 「日間別) 「

と社の思

杰 | 夏季季季雯 | 空 | 空前

中でたい物

向は、師 7774年37





競 育 シュードはアカルク 期 0 補强 劑

式株

軟

けふの市況

部を訪れ散納した、この黙談強る

先づ気俗暗影から進んでやる場像を初め金腿類の敵納供の場合を初め金腿類の敵納供のないのではれるかの没数下の

るそへ三日午前十時過ぎ年愛國

山さん自己の銅像を献納

と関係に含るといふ

身の

身代

ŋ

赤酸に感動して同じく開城貞和女

を目下脳當局に申請中である、交 の四、六三八番が一等に岱殿した すから六、一六、二六、二二六組

【京都位語】赤ちゃんの最大の敵 百日咳特効薬

の協会に頼み工夫をめぐらしてゐるだらう。関西地方の談も流く登いて來を選だ。彼はきつと前かに、「要を別り取り、長食

しく州里の鼓もならなかつた。

でうに自分の戦へ一つの事の 矢野橋村(繪)

特色高段岩縣拔式

をよくせよ

野校で成績をよくししたい奥牛番君や、仕 地にたい人へ『ソー く性しく説明した、 くだしく説明した、 くる道」といく美本を します。今スグ、た記 に冰葉徒本 - 提代象島李校 - 場へ成近村教

温暖で、急死政候問御通知の 漢江に於て 全茂生健水の 漢江に於て 全茂生健水月 一時二十分 十時後疑点於て相縁候

高

等女學



